



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2018

No. 32 (平成31年1月8日発行)

佐高 SGH クラブ研究班

## 2018SGH 全国高校生フォーラム参加報告

2018年12月15日(土)、東京・有楽町の東京国際フォーラムにおいて「2018 SGH 全国高校生フォーラム」が開催されました。全国178のSGH指定校・アソシエイト校各校の発表があり、本校SGHクラブ海外研究班(台湾班)から5名が参加して発表を行いました。

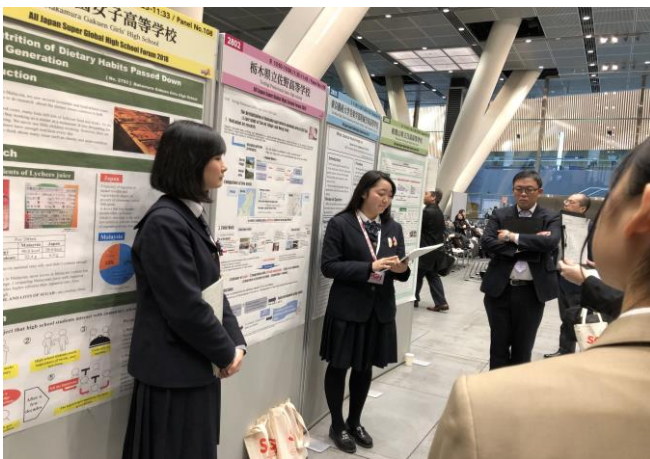
～SGH 全国高校生フォーラムとは～

文部科学省から指定された全国の「スーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)」全校が、年に1度一堂に会し、その研究成果を発表し合いディスカッションを行ない交流する一大イベントです。

～受賞校と本校チームの研究テーマ～

- ・立命館慶祥高等学校：「アイヌの伝統を知る～教育によるアイヌ文化の伝承活動」
- ・早稲田大学高等学院：「海外とつながりを持つ子供たちへの日本語教育政策について」
- ・神戸大学附属中等教育学校：「日本人生徒と英語圏帰国生徒の思考プロセスに関する考察」
- ・神奈川県立横浜国際高等学校：「ベトナムのカカオ農家を支援するソーシャルビジネスプラン」
- ・栃木県立佐野高等学校 SGH クラブ台湾班：「台湾、茂木から考える里山地域の活性化」

(佐野高校 SGH クラブ海外研究班の生徒たちの、会場での様子です)



☆フォーラムに参加した佐野高校 SGH クラブ海外研究班の皆さんの感想です！

### ○大芦 さくら(2-1)

昨年度は、「参加者」だったこの大会。今年は「挑戦者」として臨むことができた。高校生でもここまでできるのかと驚くほどレベルが高く、全国の同志たちとの交流を通して、沢山の収穫があった。

### ○坂井 里衣(2-2)

英語でのポスター発表は少し不安でしたが、質疑応答の準備などを入念に行なったので、納得のいく発表ができたと思います。分科会でも積極的に発言し、意見を交換することができました。

### ○新井 里梨(2-3)

国際フォーラムでは全国の SGH 校と交流でき、国際的な社会課題を知る機会にもなりました。英語で自分の考えを伝えることに苦戦しました。グローバルリーダーとなれるよう、まずは英語で自分の意見を発信できるような人材になりたいです。

### ○西川 紗生(2-4)

今までの調査研究の成果をまとめ、沢山の人の前にして、発表を行なった。自分たちの考えに自信を持ち、質疑応答なども十分に力を発揮できたと感じている。

### ○松澤 あさひ(2-4)

英語での発表や交流会を通して意欲を得るとともに、自分の英会話力の低さを痛感しました。このフォーラムで培った資料作成のコツや人を引きつけるプレゼンの方法を今後に役立てたいと思います。

